

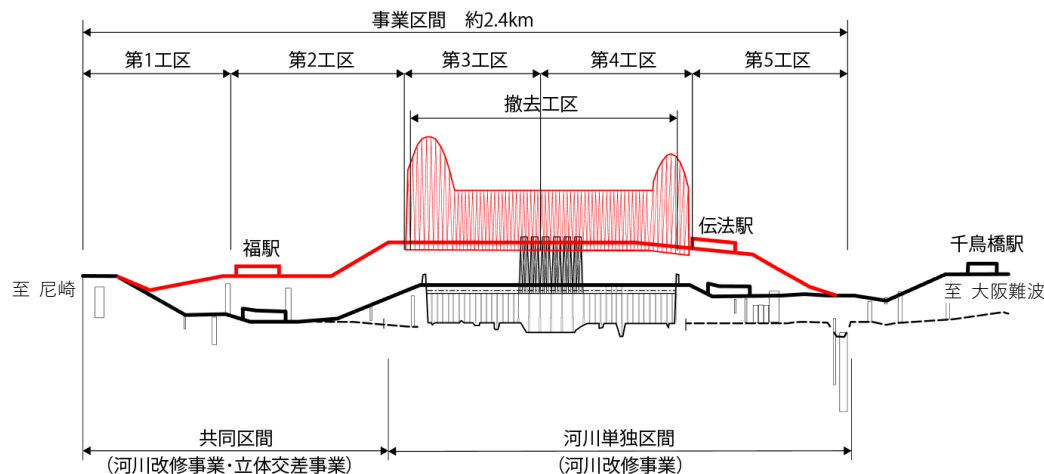
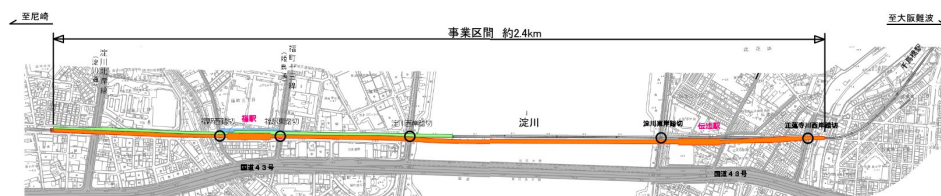
【事業概要】

現在の阪神なんば線淀川橋梁は、河川内に39本と多くの橋脚があり、桁下高が低いため、洪水の流れを阻害し、大規模な洪水が発生した際には、橋梁の堰上げにより、上流で堤防が決壊する恐れがあります。また、橋梁部分は堤防を切り込む形になっており、高潮時には陸閘を閉鎖することで浸水被害を回避している状況です。

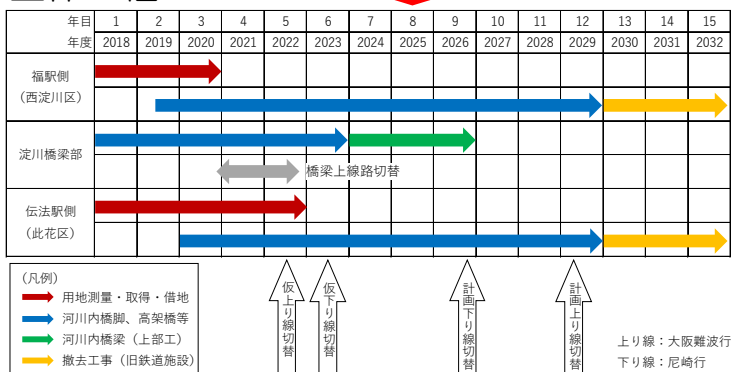
橋梁の改築により、橋脚数を減らし、桁下高を上げることで、洪水を安全に流下させるとともに、陸閘をなくす事で高潮時の安全性を確保する事が出来ます。

各工区の工事 2025年度の主な作業内容(予定)

- 1工区 淀川北岸線付近から福駅西踏切まで
場所打ち杭工、躯体構築工、PC桁上工
- 2工区 福駅西踏切から淀川右岸まで
場所打ち杭工、躯体構築工、福駅建築設備工
- 3工区 淀川右岸から河川中心まで
上部工架設工
- 4工区 河川中心から淀川左岸まで
上部工架設工
- 5工区 淀川左岸から正蓮寺川まで
場所打ち杭工、躯体構築工、高架仮線橋脚構築工



全体工程



全体位置図



【 2025.5～2025.7までの工事】

①場所打ち杭工



②鋼矢板圧入工

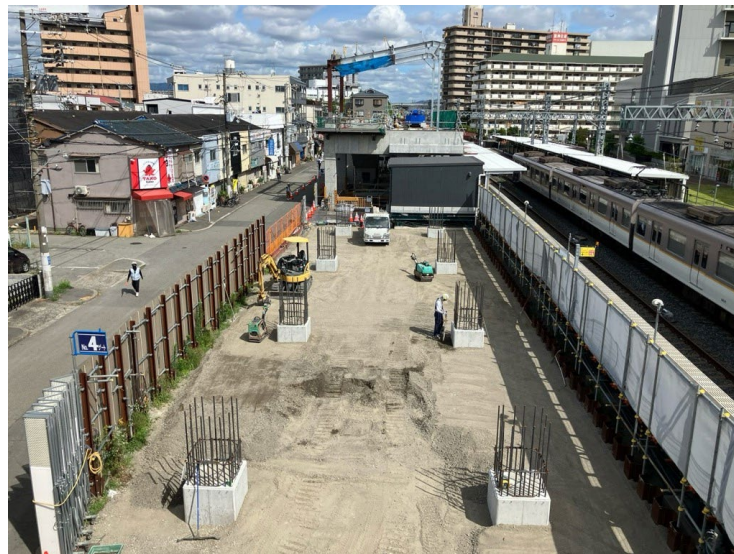


【 2025.5～2025.7までの工事】

①鉄骨建方（福駅）



②躯体構築工（柱、埋戻し）



③躯体構築工（柱）



④躯体構築工（地中梁）



【 2025.5～2025.7までの工事】

①上部工架設工（全景①）



②上部工架設工（全景②）



【 2025.5～2025.7までの工事】

①上部工架設工（全景①）



②上部工架設工（全景②）



【 2025.5～2025.7までの工事】

①躯体構築工（柱、スラブ）



②躯体構築工（柱、埋戻し）



③躯体構築工（基礎）



④ボックスカルバート工

